

南方熊楠が愛した幻のカンキツ

安藤柑（カンキツ）

○特 徴：

グレープフルーツに似た450gほどの果実で、あっさりとしていて実に上品な味。

博学者「南方熊楠」が大層好んだことから有名になった。

市場にはほとんど出回らず、今では地元の柑橘農家でさえ目にすることのない“幻のカンキツ”。

現在、田辺市上秋津で特産品化を図ろうと復活の兆し。



○食べ方：

生果でも食べられるが、味や香りが控えめでジュースにするとあっさりとしている。「南方熊楠」も愛飲していた。

○来 歴：

田辺市上屋敷にある徳川時代の旧藩士「安藤治兵衛」の邸宅に自生していたと伝えられ「安藤みかん」と呼ばれた。

「南方熊楠」が晩年移り住んだ田辺市中屋敷の熊楠邸にも植栽している。安藤柑の正式名は「絹皮」との説もあるが定かでない。

○ 旬 ： 1月～2月

○産 地：田辺市上秋津

○生産量：1 t（H24年度、きてら）

○問い合わせ先：秋津野直売所『きてら』（0739-35-1177）

○出荷期間：生果のみ 1月～2月

○販売単位：1個、5kg箱、7.5kg箱、10kg箱 ※注文に応じて